

お米の広場

五平餅・からすみ
朴葉寿司などの販売
もあります。

お田植え儀式と お米の祭典

今から1300余年前、飛鳥
時代のその昔、都に献上されて
いた恵奈のお米。あすかにふだもっかん荷札木簡の発
掘から始まった物語。ゆうきゆう悠久の
思いを馳せて「お田植え祭」を
お楽しみください。

歌と踊りと太鼓と

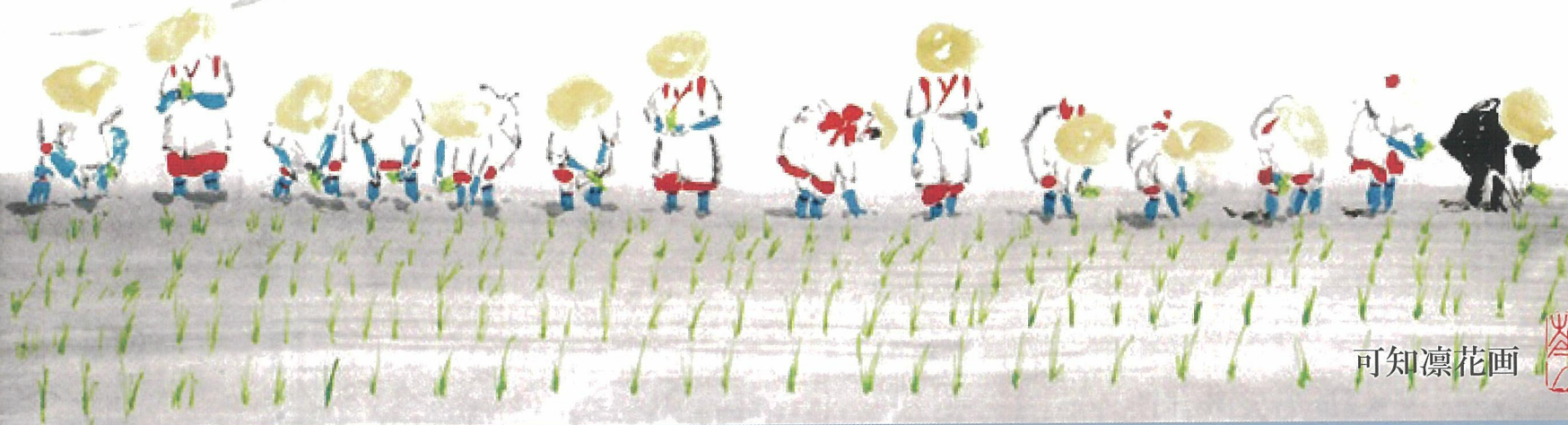


すきま 恵奈の里 次米お田植え祭

令和6年5月18日(土) 10時~

会場：長島町正家斎田（円通寺前）

明日香へ届け！歌って踊って伝える恵奈の次米



可知凜花画



主催 恵奈の里 次米みのりまつり実行委員会

後援 ENAみのりのみのりまつり実行委員会

共催 恵那市 恵那商工会議所 東美濃農業協同組合 (一社) 恵那市観光協会

お問合せ窓口

助成 (公財) 伊藤青少年育成奨学会 恵那市地域のまちづくり活動補助金 十六銀行

恵奈の里次米みのりまつり実行委員会

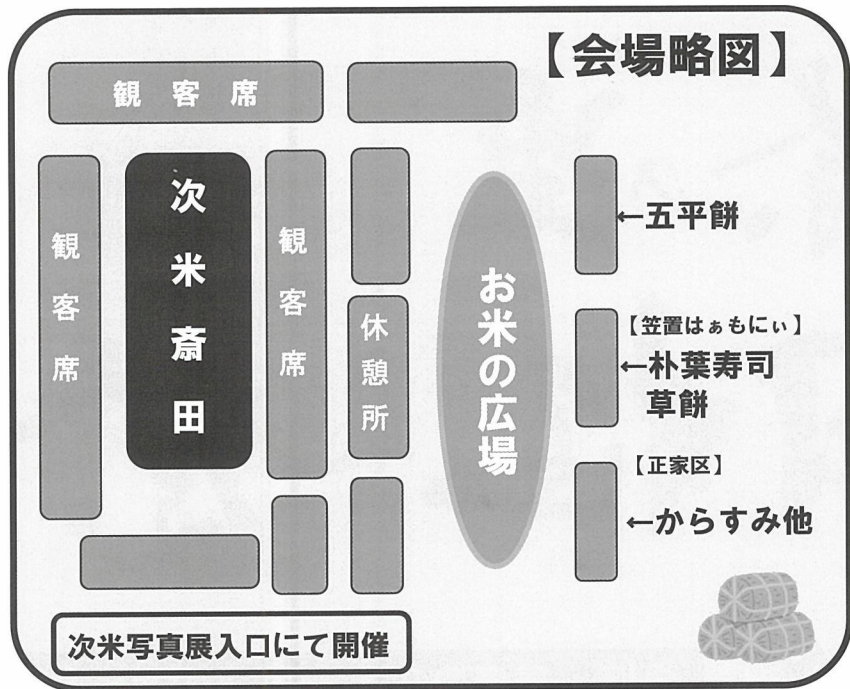
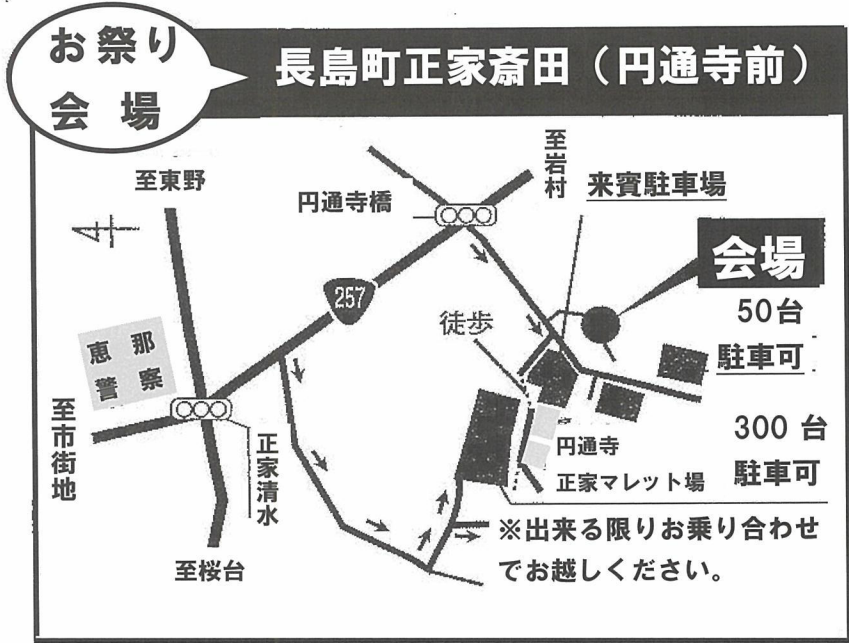
恵那社会福祉事業協力会 岐阜信用金庫

(恵那市役所 観光交流課)

(財) とうしん地域振興協力基金 夢屋恵那店

協力 正家区 岐阜県立恵那農業高校

0573-26-6830



明日香へ届け!! 恵奈の次米

第一幕～第五幕までのご紹介

第一幕	5/18(土) 恵奈の里 次米お田植え祭
第二幕	9/14(土) 恵奈の里 次米抜き穂祭
第三幕	9/21(土) 恵奈の次米 献上行列
第四幕	9/22(日) 恵奈の次米 お米の楽市
第五幕	10/8(火) 奈良 薬師寺 次米献納 10/9(水) 明日香天武陵 次米献納

お問合せ先 恵奈の里次米実行委員会
 会長 河村 尚徳 ☎080-3078-2301

写真コンテスト 応募募集!

次米みのり祭「第一幕～第五幕」に関する写真を募集致します!!
【応募期限】令和6年10月10日(木)～10月18日(金)

【提出形式】 jpg形式データをUSBメモリにて「題名、氏名」をファイル名にして提出。おひとり様2点まで。※ファイル名が不備の場合は受付できません。

【入選発表】 令和6年10月25日(金)

【賞品】 恵奈の次米5kg(入選10名)

【提出先】 長島地域自治体事務所(恵那市役所 北庁舎内)

【備考】 ・入選者には本人宛に直接通知します
 ・入選作は東美濃農業祭にて展示(予定)します。
 ・著作権は実行委員会に帰属します。

◆次米トピック 木簡から何が見える?

① 木簡に書かれた「恵奈五十戸」「刀支評」の中心は恵奈!

木簡に記載されている「丁丑(ていちゅう)年」(西暦677年)の前年に、「日本書紀」の記述に「礪杵(とき)郡」の記載がある。これが当時の正式なこの地域の地名であるが、木簡には書きやすい「刀支」が使われたと思われる。

「礪杵」のことばの意味は、「礪」は砥石、みがくの意、「杵」はきねであるから、大意「きねでみがく」であり、何と次米(すきまい)の産地にはピッタリである。

「土岐」と書く地名が現れるのはもっと後であり、木簡にある「刀支評」(ときのこおり)とは、今の土岐市周辺の地域ではなく「恵奈」(恵那)を中心とする地域であり、次米を献上する有力な地域であったと考えられる。

恵奈の地には多くの古墳があり、古代寺院「正家廃寺」もある。また、「日本書紀」に、松本の温泉に行幸が計画されたと書かれ、「恵奈五十戸」(えなのさと)が東山道の重要な中継地、東国経営の拠点になっていたと考えられる。

② 恵奈の次米は大嘗祭に使われた!

木簡が発掘された飛鳥池工房遺跡は最古の貨幣「富本銭」の製作など、当時の先進の技術の場であり、隣接する酒船石遺跡には亀形石、酒船石などの祭祀遺構遺跡がある。一体的に考えれば、次米木簡の発見は、初期の大嘗祭を裏付けるものと考えられる。
 明日香村教委相原前文化財課長

